

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
トライデントデザイン専門学校	平成1年1月31日	坂本 直之	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1785				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 河合塾学園	昭和53年8月1日	河合 弘登	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1785				
目的	デザインの基礎知識と、コミュニケーション能力のある人材を育成する。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化教養専門課程	イラストデザイン学科	平成21年文部科学省告示第22号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2040	270	1770	0	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
40人	19人	1人	7人	8人			
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成果物、小テスト等による総合判定。			
長期休み	■夏季: 7月21日～8月31日 ■冬季: 12月24日～1月7日 ■学年末: 3月17日～3月31日		卒業・進級条件	進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個別、あるいは保護者同席での面談		課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会、学園祭、デザイン研修の ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 西出、明美文化服装専門学校、益久、ジェイオフィス、オーアール・エフ、他 ■就職率 ^{※1} : 81.8% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 55.6% ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する平成28年5月1日 時点の情報)		主な資格・検定等	色彩検定			
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成27年4月1日 18名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 18名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 個別面談、保護者会の実施。学費支援制度の導入。						
ホームページ	URL: http://design.trident.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

常に業界第一線の状況を把握し、最先端の知識や技術を学校として吸収し教育内容に反映していくことはもちろんのこと、学生への教授についても第一線の仕事のすすめ方なども熟知したうえで実施するため、本校で開催する教育課程編成委員会においては、関連企業、業界団体、学識経験者等からの要請、提言を聴取し、該当学科、ひいては学校全体の教育運営に資することを目的とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属
渡邊 伸哉	竹田印刷株式会社 ソリューション本部 企画部部長
中川 義千	中部クリエイターズクラブ

(開催日時)

第1回 平成27年7月13日 13:30～15:30

第2回 平成28年1月29日 15:30～17:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業との連携による演習等の科目においては、企業の業務水準を現実的に体感させることを主目的に設定する。疑似体験的な演習講義を通じて、企業で日常使われている技術・知識を体験、習得させる。また、授業を通じて学生たちが生み出した成果物に対する評価においても、学校という教育環境下での評価ではなく、市場を見据えた企業の現実の評価基準での判定を実施していただく。また、こうした演習全体を通じて、社会人基礎力を涵養していくことも合わせて目的に設定する。

科目名	科目概要	連携企業等
トライアルコンペ	外部で主催されるイラストレーションを使用したコンペティションの趣旨・目的を理解し、応募作品の中でも強いインパクトを放つ作品を制作し、自分の作品を客観的に評価される機会を作る。チャレンジ精神の向上と、コンペティションを通して自分の特長や課題、現在のレベルを知り、今後の学習の目標とする。チラシ制作をするための目的・ターゲットを理解する。10月に実施される「区民まつり」のチラシ制作を通じて、リサーチ力とアピール力を身につける。実戦的にコンペ形式で競いあわせた上で、最優秀作品は、チラシとして採用される。	名古屋市中村区役所 区民生活部まちづくり推進室
トライアルコンペ	外部で主催されるイラストレーションを使用したコンペティションの趣旨・目的を理解し、応募作品の中でも強いインパクトを放つ作品を制作し、自分の作品を客観的に評価される機会を作る。チャレンジ精神の向上と、コンペティションを通して自分の特長や課題、現在のレベルを知り、今後の学習の目標とする。また、印刷会社と連携し印刷物として出力できる正確なデータ作りを理解するための基本を学び、速さと品質を意識したアプリケーションソフトの利用方法についても習得する。	竹田印刷株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専門学校教員として、自己の専門分野における最先端の知識・技術の習得のために、業務上一定の時間を費やすことを学校として求めている。ただし、個人の努力目標のみではなく、業界第一線の知識・技術の習得については学校として機会を積極的に提供していく。また、専門知識のみではなく、授業に関わる技術など教育力向上のための機会についても法人全体の課題として取り組んでいく。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
三木 哲郎	竹田印刷株式会社 営業第三部 副部長
伊藤 浩二	株式会社アルペン
川橋 康樹	株式会社バウハウス丸栄 取締役執行役員 中部第Ⅱ本部長
山田 雄大	有限会社たけひろ建築工房 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)ホームページにて公開

URL: <http://design.trident.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)ホームページ、広報誌等の刊行物、学生便覧、入学要項

URL:<http://design.trident.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程イラストデザイン学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デッサンⅠ・Ⅱ	造形活動をおこなう上での根幹的表現力であるデッサンの、伝統的かつ基本的手法を習得する。基本的なものの見方と姿勢を身につける。	1通	180	6	○			○				
○			コンポジション	アクリルガッシュ等を使用して平面構成を行い、色と形、そして空間とそれらの関係を理解し、構成する能力を養う。	1前	60	2	○			○			○	
○			デザイン史・色彩概論	デザインの起源から現在までの変遷を、特に近代デザインに重点を置いたデザイン史の知識を身につける。/色彩についての基本的な知識と体系を身につける。	1前	30	1	○			○		○	○	
○			感性教育Ⅰ・Ⅱ	体験的授業手法とグループワークを通し、創作者に求められる感性を育む。	1通	120	4	○			○		○		
○			イラスト技法Ⅰ	基本的な画材の特性と描写技法を知り、作品制作に対する意識を高めることを狙いとする。	1前	60	2	○			○			○	
○			イラスト技法Ⅱ	画材の基本的な使い方と表現技法などの知識と技術を学び、イラストレーションの基礎を習得する。	1前	60	2	○			○			○	
○			イラスト技法Ⅲ	様々な技法を使い、テーマに即したコンセプトの確立と、それに伴う個性的な表現へ展開できる力を養成する。	1後	60	2	○			○			○	
○			イラスト技法Ⅳ	画材に応じた表現技法の幅を広げ、作品のテーマを明確にして、表情豊かな作品制作をすることを目的とする。	1後	60	2	○			○			○	
○			CGⅠ	代表的なグラフィック/ドロー系のソフト「Illustrator」を使って基本的な作図方法を習得する。	1前	60	2	○			○			○	
○			CGⅡ	「Photoshop」の基本操作を学び、個性豊かなCG作品を制作、「Illustrator」と組み合わせる画面レイアウトまで身につける。	1後	60	2	○			○			○	
○			日本画	日本画の多彩な表現方法を学び、作品の表現幅を広げることを目的とする。	1前	60	2	○			○			○	

○		フィギュア	2次元のキャラクターを忠実に3次元で再現することによって、よりの確に形を把握できる力を身につける。	1 前	30	1		○	○	○								
○		絵本技法Ⅰ	画材選びからストーリーの構成まで絵本の基礎を習得する。	1 後	60	2		○	○	○								
○		キャラクターイラストⅠ	広告やグッズ展開を想定したキャラクターイラストを制作することを目的とする。	1 後	60	2		○	○	○								
○		立体イラストレーション	広告や印刷を想定した立体イラストレーションを制作することを目的とする。	1 後	60	2		○	○	○								
○		ベーシックプログラムⅠ	入学直後、専門科目の履修に先駆けて、常識・ビジネスマナーなど社会人の基礎を身につける。	1 前	30	1	○		○	○								
○		ベーシックプログラムⅡ	社会人に必要で、その後の専門科目の履修に欠かせない基本知識を習得する。	1 前	30	1	○		○	○								
○		ベーシックプログラムⅢ	社会人として活躍するための重要な能力「社会人基礎力」に着目し、チーム活動を通じた各種の課題をこなすことで社会人として必要な基本スキルを身につける。	1 前	30	1	○		○	○								
○		キャリアデザインⅠ	「社会人基礎力」における‘前に踏み出す力’ ‘考え抜く力’ ‘チームで働く力’の理解、および実践に向けた行動をとることができるようになる。	2 前	30	1	○		○	○								
○		キャリアデザインⅡ	主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や、社会人・職業人としてしっかりとした勤労観や職業観を身につける。	2 後	30	1	○		○	○								
○		デッサンⅢ	人物デッサン、クロッキーなどを通じて、イラストレーターとして必要な観察力と表現力を養う。	2 前	60	2		○	○	○								
○		イラスト技法Ⅴ	1年次に学んだ技法をふまえ、さらに個々の世界を社会にアピールするための知識、技術を習得する。	2 前	60	2		○	○	○								
○		絵本技法Ⅱ	絵のレイアウトやストーリー構成から表現の幅を広げて、オリジナル絵本を制作することを目的とする。	2 前	60	2		○	○	○								
○		CGⅢ	「Illustrator」「Photoshop」を使って、より高度な機能を習得し、レイアウト力を強化することを目的とする。	2 前	60	2		○	○	○								
○		キャラクターイラストⅡ	様々なメディアで通用するキャラクターを、実践的な展開まで見据えて制作することを目的とする。	2 前	60	2		○	○	○								

○		トライアルコンペ	デザイン分野のコンペティション入賞を目指した作品作りを行うことを目的とする。	2前	60	2		○	○		○	○
○		ビジュアル研究Ⅰ	イラストレーションを使用した展開（DM・ポスターなど）の制作と、作品発表（展覧会）を行うことを目的とする。	2前	60	2		○	○		○	
○		ビジュアル研究Ⅱ	オリジナルイラストを使用したポスター制作と卒業後を見据えたポートフォリオを作成することを目的とする。	2後	60	2		○	○		○	
○		Webデザイン	htmlの基本から作品紹介のためのホームページ作りを習得する。	2前	60	2		○	○		○	
○		卒業制作	各専攻のテーマに基づき、完成度の高い、個性豊かな作品や実験的な作品を制作し、二年間の総仕上げとする。	2後	240	8		○	○		○	
○		キャリアデザインⅢ	自己分析や社会、企業などの理解を通して、職業選択をする。	3前	30	1	○		○		○	
○		就職研究Ⅰ・Ⅱ	個々の学生の目標業種に応じた取組みを行い、また、就職活動の状況を把握し、効果的に就活を進めるための総合的サポートをおこなう。	3通	60	2	○		○		○	
合計				科目	2040単位時間(68単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。 (留意事項)		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。